

▶少子化対策に挑戦する市町村バックアップ事業成果報告会

Workshop Report 2025

Contents

R 8.2.13 (Fri) 13:00～16:00

岡山県庁 9階大会議室

※オンラインとのハイブリッド開催

1 開会

2 あいさつ（岡山県）

3 地域アプローチについて

（内閣官房 地域未来戦略本部事務局）

4 バックアップ事業の成果等について

- ・バックアップ事業取組紹介（岡山県・（株）大広）
- ・令和7年度参加市町の成果報告
(津山市、笠岡市、備前市、真庭市、和気町、香川県さぬき市)
- ・令和6年度参加市町の実施状況
(高梁市、新見市)

5 令和8年度の少子化対策事業について（岡山県）

6 閉会

主催：岡山県 委託事業事務局：(株)大広

協力：内閣官房 地域未来戦略本部事務局

中国経済産業局

「地域アプローチ」による少子化対策の取組プロセスについて

少子化対策地域評価ツールでは、地方公共団体による「地域アプローチ」による少子化対策の取組を6つのSTEPに分割して紹介しており、それを支える都道府県の役割についてもまとめている

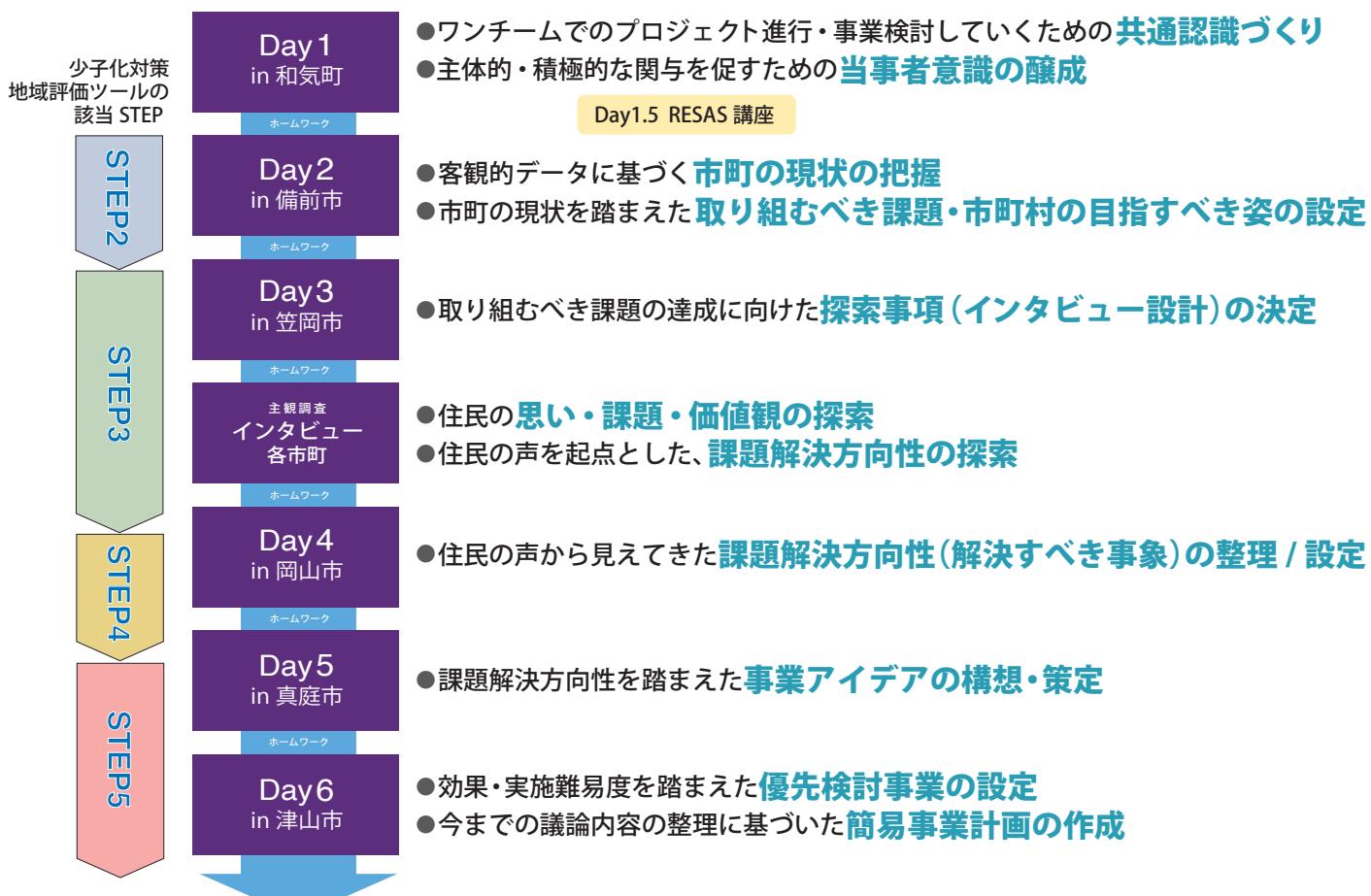
- ✓ 地域評価ツールでは、「地域アプローチ」による少子化対策の取組について、市区町村が行う場合を想定してSTEP1～6にわけて各プロセスでの取り組み方や実践事例を紹介しているほか、それを支える都道府県の役割・取組内容についてもまとめている

「地域アプローチ」による取り組み方について



▶ワークショップ等の概要

検討フローの全体像と各日程の目的



▶少子化対策に挑戦する市町村バックアップ事業のイメージ

市町村

- 少子化対策を担う部署や部局横断的組織がない市町村も存在。
- 担当者は多岐にわたる業務を兼務。
 - ⇒少子化の要因分析ができていない。
 - 対策を検討する人的な余力がない… 等
- 事業構築や交付金活用等のノウハウの蓄積が少ない。

県

- 出生率等に関連する指標の状況は地域によって大きく異なる。要因や課題にも地域差があり、画一的な対策では限界がある。
- 市町村に比べ、地域の実態に即した対策の実施が難しい。
- 少子化対策は、「できることは、すべてやる」という強い意志で取り組む。

バックアップ事業

【1年目：協議会方式による調査事業等の実施／各市町村 100万円】

県と市町村の連携による地域課題の把握と オーダーメイド型の少子化対策検討

市町村

- 各種統計・調査データや既存施策等の情報共有
- 不足データの調査、地域実態等の共有
- 課題の把握、対策検討、予算・事業化

県

- ノウハウの提供、人的支援や財政支援の実施
- 県内データとの比較、県民意識調査、他自治体情報や先進事例等の提供
- 予算化、事業構築、交付金活用の助言や資料作成支援

専門家等

- 学識的視点での助言
- 優良事例の紹介 等

助言

国

- 他県の先進事例等の提供
- 交付金活用の助言 等
- 指標関連データ分析支援（RESAS等）

市町村の実態に 即した対策実施



(県委託)

委託事業者

- ワークショップの運営、原因・課題分析補助
- 不足データの調査方法提案 等

WS運営・調査等補助

【2年目：補助額／各市町村 500万円】

【実施後】

全市町村と スキーム・事例の共有